



とまたろちゃん

トマト

高冷地を中心に夏の代表野菜

トマトは、生育のために強い光が必要で、昼夜の温度差があることを好み、多湿を嫌う食べ物です。

山口県では、夏場は高冷地を中心として栽培されています。県内の夏秋トマトの最大産地である「山口あぶトマト」は、昭和50年代に雨よけトマト部会が結成されたのが始まりで、平成17年には萩市の「高俣トマト」と阿東町の「阿東夢(あとむ)トマト」がひとつとなり、中国地方で最大級のブランドとして誕生しました。

また、病気や裂果を引き起こす原因となる雨から守る「雨よけ栽培」の工夫や、光センサーを装備した選果場で作られたトマトは、品質や規格が揃っており高い評価を受けています。



🍷 選び方

全体の色が均一で赤が濃く、皮にハリがあるもの。また、甘くてジューシーなトマトは、持ったときにずっしりと重みを感じられます。

ヘタやガクの部分がピンとしていて、元気が良く枯れていないものは新鮮なものです。

👁️ 注目

県内の冬春トマトの産地である山口市秋穂や下関市垢田地区は、土地を生かした高糖度のトマトを栽培しています。

美味しさの秘密は、通常のトマト栽培に比べ水分を控え気味に栽培することです。そうすることによって、甘味・旨味が凝縮したトマトになります。また、通常のトマトは果実が青いうちに収穫し追熟させて赤くするのに対し、樹で十分に赤く熟してから収穫をします。このような取組みが、皆様に評価される甘みや美味しさを作っています。

しっかり熟して
あま〜くなります

